

令和7年9月22日
国土交通省関東地方整備局
長野国道事務所

工事発注手続きについて

～「R7国道19号稲里高架橋外橋梁補修工事」の発注手続きを行います～

長野国道事務所が発注する「R7国道19号稲里高架橋外橋梁補修工事」において、不調・不落対策等を試行、採用します。

工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予想される工事について、不調・不落対策等を試行、採用しています。

今回発注する「R7国道19号稲里高架橋外橋梁補修工事」については、以下のとおり不調・不落対策等を試行、採用します。

【不調・不落対策等】

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式） 企業実績評価型
2. 競争参加資格の緩和
3. 難工事指定
4. 余裕期間制度（フレックス方式）
5. 施工箇所が点在する工事の積算

※詳細は次頁をご覧ください。

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 長野県庁会見場 長野市政記者クラブ 長野市政記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 長野国道事務所

電話：026-264-7001（代表） メールアドレス：ktr-nagano-koho@gxb.mlit.go.jp

副所長（技術） 岡田（おかだ）（内線205）

管理第二課長 秋田（あきた）（内線441）

《工事概要》

- (1) 工 事 名：R7国道19号稲里高架橋外橋梁補修工事
- (2) 工事場所：自 長野県長野市篠ノ井小松原地先
至 長野県長野市稲里地先
- (3) 工 期：全体工期 契約締結日の翌日から令和8年5月29日
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型
- (5) 工事種別：橋梁補修工事
- (6) 工事内容（概要）： 1）長野市小松原地区【両郡橋】

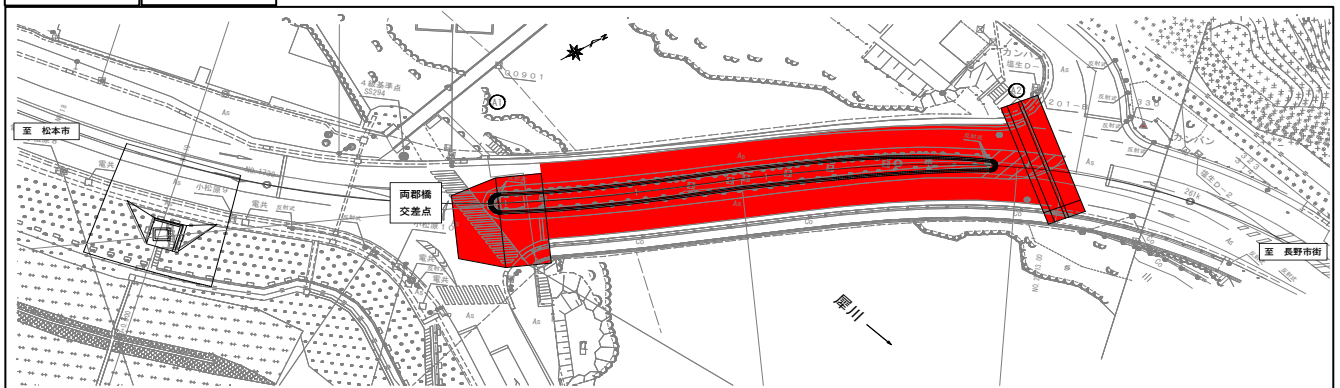
舗装工	A=約900m ²
区画線工	L=約400m
排水施設工	L=約170m
断面修復工	N=1構造物
応急処理工	1式
仮設工	1式

2）長野市稲里地区【稲里高架橋外2橋】

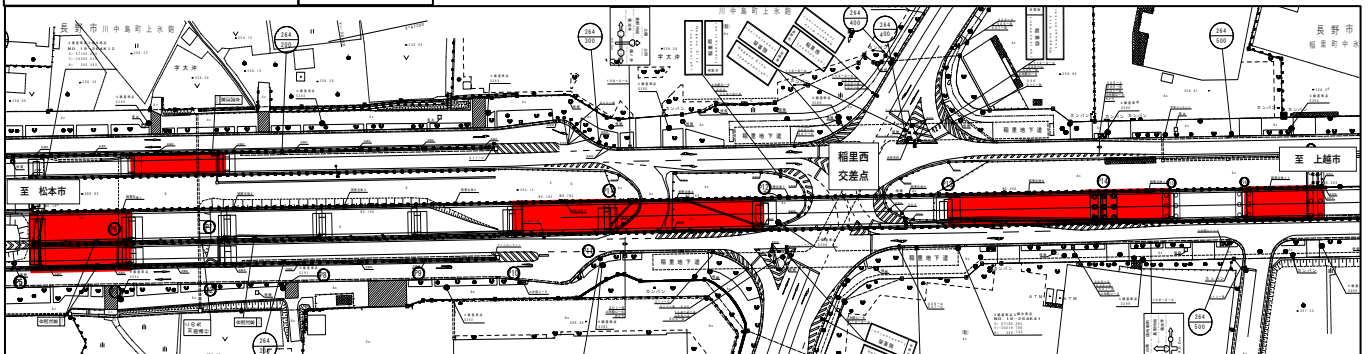
ひび割れ補修工	N=2構造物
断面修復工	N=3構造物
剥落防止工	1式
応急処理工	1式
仮設工	1式

■工事概要図

両郡橋 平面図



稲里高架橋外2橋 平面図



《不調・不落対策等》

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、試行するものです。

特徴は次のとおりです。なお、公共工事の実績のない企業でも参加しやすい方式となっています。

1) 競争参加時に配置予定技術者の申請は不要です。

（参加要件として配置予定技術者の工事経験の設定はありません。）

2) 総合評価における加算点の評価対象は、企業における防災に係る取組姿勢、同種工事の施工実績、本発注工事の工事種別における新規契約の有無及び賃上げの実施、ワーク・ライフ・バランス関連認定企業の評価を加算点としています。

3) 過去の工事成績や表彰実績、配置予定技術者の技術力は評価対象としません。

2. 競争参加資格の緩和

1) 地域要件の拡大

工事場所等の地理的条件を勘案し、競争参加資格の地域要件を「長野県内」に建設業法に基づく本店、支店又は営業所を有する企業から「関東地方整備局管内」に建設業法に基づく本店、支店又は営業所を有する企業に拡大します。

2) 企業に求める施工実績の緩和

企業に求める施工実績を「道路橋の工事」に限定せず、「道路橋または横断歩道橋工事」として緩和します。

3. 難工事指定

本工事は、交通量の多い国道19号長野南バイパスでの作業となり、交通規制を行いながら車道舗装等を施工することから、厳しい安全管理が必要であるため、「難工事」の指定を実施します。

「難工事」指定された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。なお、主任（監理）技術者または現場代理人として従事した経験について、審査基準日の月以前の4年間で評価対象となります。

4. 余裕期間制度（フレックス方式）

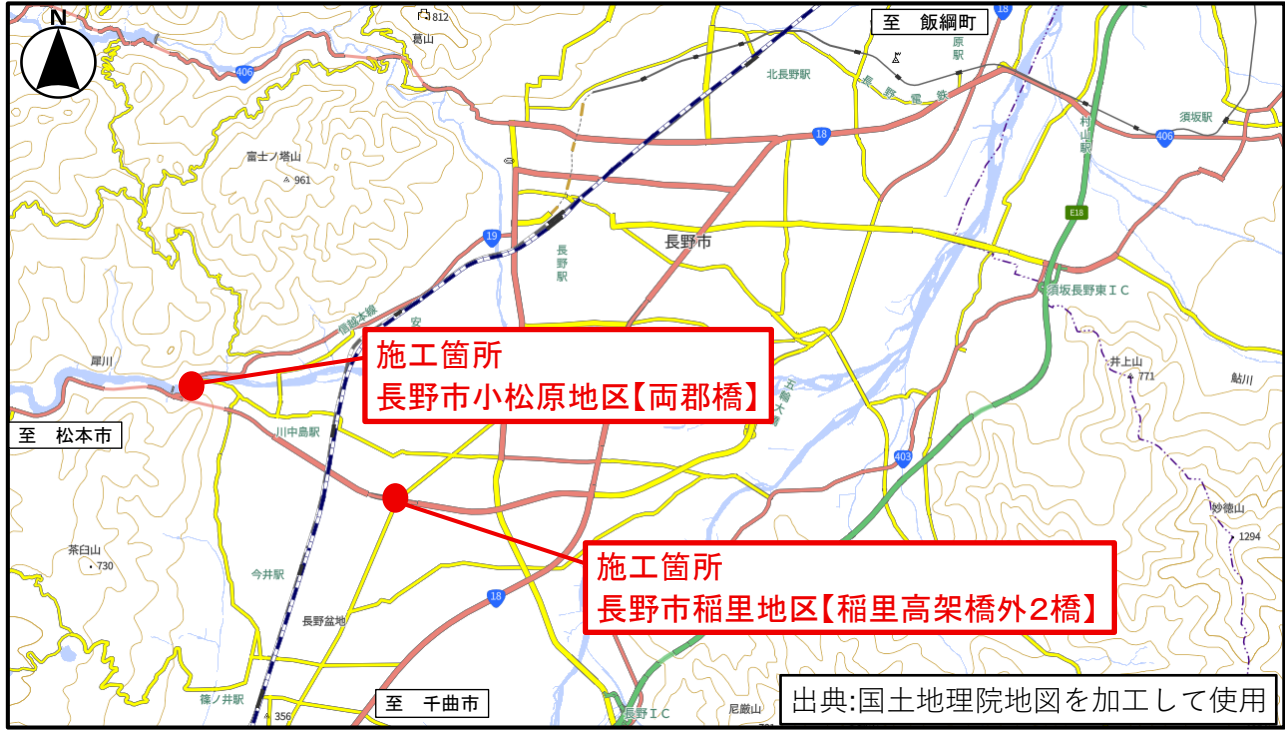
本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和8年5月29日までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

5. 施工箇所が点在する工事の積算について

施工箇所が点在する工事の積算について、建設機械を複数箇所に運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、共通仮設費、現場管理費を箇所毎に算出する「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

本工事の地区は、長野市稲里地区、長野市小松原地区とし、詳細は下図のとおりです。



《スケジュール》

○入札公示、入札説明書交付	: 令和 7年 9月 22日 (月)
○技術資料等の提出期限	: 令和 7年 10月 2日 (木)
○入札書・工事費内訳書の提出期限	: 令和 7年 10月 31日 (金)
○開札日	: 令和 7年 11月 6日 (木)

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式・企業実績評価型)の試行について

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ **総合評価落札方式・企業実績評価型**
→企業における防災に係る取組姿勢と施工実績等を評価

